

放送大学は、自宅で学ぶことを基本とした通信制大学です。インターネットやBS放送を活用し、好きな時間・好きな場所でマイペースに学ぶことができます。一方で、学生が講師から直接授業を受けられる面接授業(スクーリング)や、一般の方も無料で参加できる「公開講演会」など、多彩な学びの場を用意しているのも特徴です。今回は放送大学八戸サテライトスペースの面接授業と、公開講演会の様子取材しました。

放送大学で、 diverse learning 多彩な学びを。

面接授業



八戸市の是川縄文館で毎年行われる「是川遺跡の縄文考古学」は、同館の学芸員が講師を務め、青森県内外から放送大学の学生が受講する注目度の高い面接授業です。

本年度は11月16、17の両日に行われ、初日の2時限目は縄文土器作りに挑戦しました。受講生は棒状にした粘土を積み上げて形を作ったり、縄や竹べらで文様を付けたりと、真剣な表情で縄文土器を再現。縄文是川ボランティアの皆さんに指導してもらいながら、丁寧に仕上げていきました。福島県から参加した70代の男性は「小さい土器を作るだけでも大変だった。大きいものを作るのはもっと大変だろう」と当時の人々の技術に驚いていました。

また、3時限目はフィールドワークを実施。講師の案内で、是川遺跡の中居遺跡と一王寺遺跡を巡りました。参加者からは「縄文土器の粘土はどこから採取したものか」などさまざまな質問が飛び出し、縄文文化に興味不尽きな様子でした。

公開講演会

八戸サテライトスペースでは毎年1回、誰でも無料で参加できる「公開講演会」を実施しています。これまで知り得なかった知識や情報に触れることで、新たな学びの扉を開くことができます。

10月26日に八戸市のユートリーで行われた公開講演会では、放送大学青森学習センターの石川善朗所長が「青森県の伝統工芸品ー全国の工芸品と比較してー」と題して講演しました。

石川所長は経済産業省が指定する「伝統的工芸品」の法律上の要件や、伝統的工芸品を取り巻く環境の変化を紹介。現代社会において伝統工芸品を維持していくことが難しくなっている現状にも触れました。また、八戸焼や南部裂織など、青森県が指定する青森県伝統工芸品の各品目の特徴も詳しく解説しました。

八戸市内の大学に通う10代の男性は「工芸品が多い地域ほど産業が発展しているということを初めて知った」と話し、新たな気付きを得ていました。



「ちょっと知りたい」「なんか気になる」も立派な入学動機です。

4月入学生 募集中

※青森学習センターは4月ヒロロ4階に移転します。

出願期間 **3/11(火)まで**

※資料請求や出願はインターネットでもできます。

すべての「学びたい」に、OPEN。

- ☑ 働きながらスキルアップを目指したい現役世代の方に!
- ☑ 空いた時間を有効に使いたい子育て世代の方に!
- ☑ リタイア後の生涯学習を目指したいシニア世代の方に!
- ☑ 自分のペースで大学卒業を目指したい若者世代の方に!

放送大学 検索 <https://www.ouj.ac.jp>



八戸サテライトスペース

見学や学習相談はお気軽に

八戸駅に直結「ユートリー」4階にあり、とっても便利。スタッフが様々な相談に対応するほか、学習のスペースとしてもご利用いただけます。



土日も利用できます (月曜・祝日は閉所)